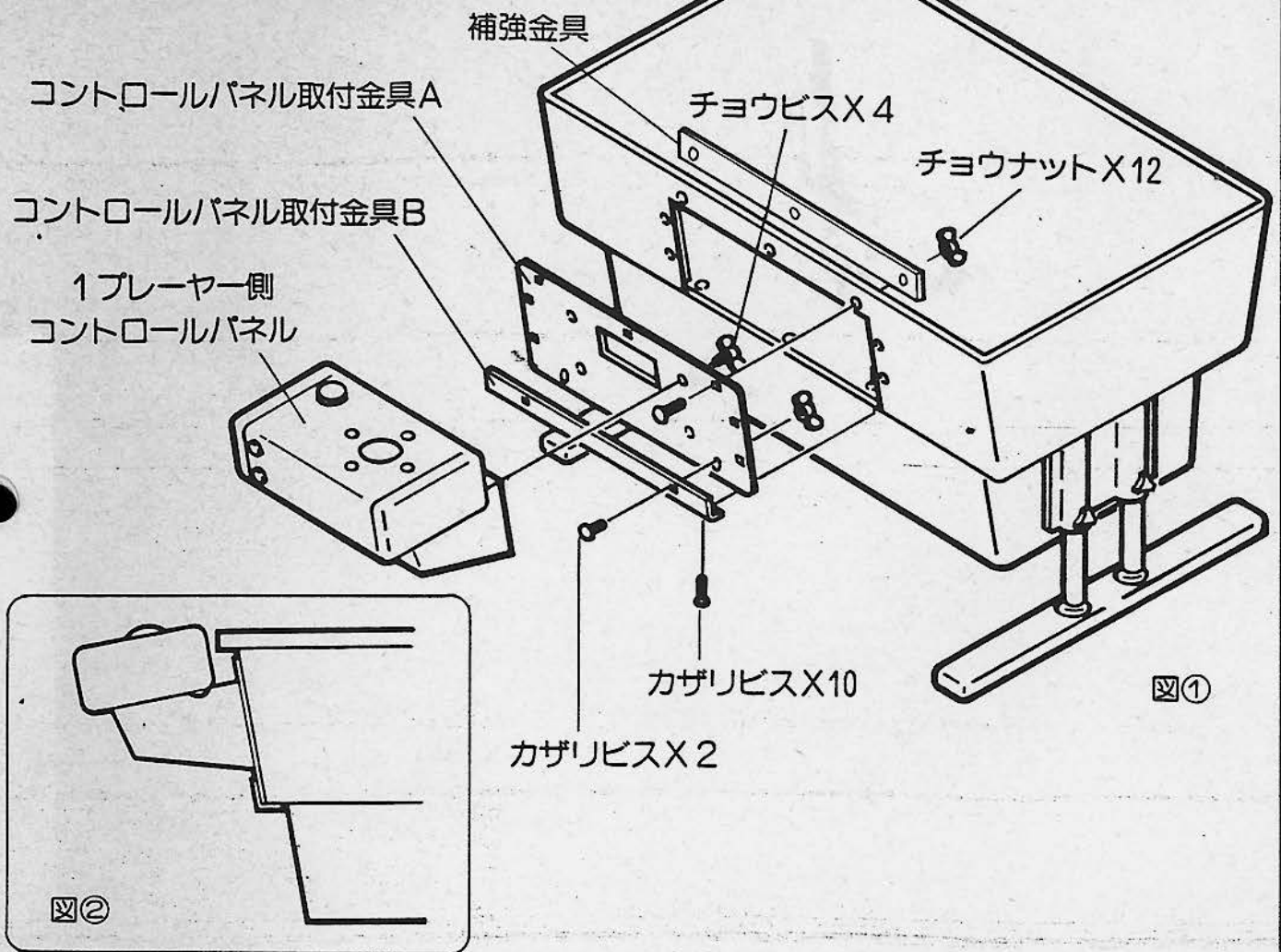


コントロールパネルの取付け方

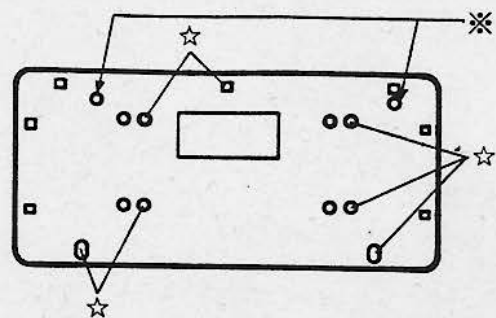


- 取付け手順 コントロールパネル取付金具A・Bをキャビネットに合わせて取付けて下さい。
次にコントロールパネルを図②のように天板より高くなるように調整して取付けて下さい。
また、天板の開閉時に天板とコンパネ部が接触しないように、コンパネを調整して下さい。
なお、使用しない穴はプッシュリベットでふさいで下さい。
2プレーヤー側も1プレーヤー側同様に取付けて下さい。
注：在中のFG線材により必ずFGを継いで下さい。

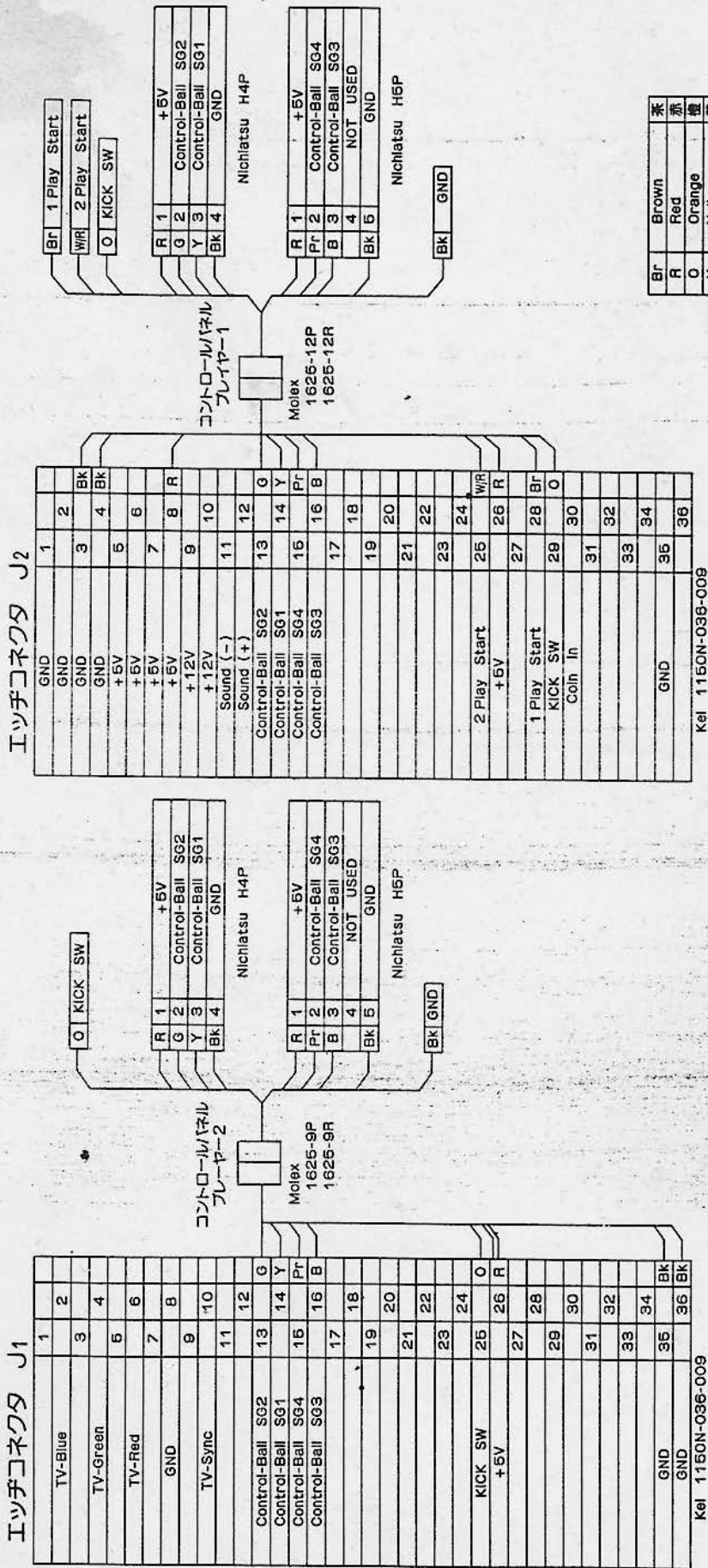
テーカン製キャビネットへの取付は、キャビネットの従来の穴に右図の※印の穴を合せて取付けて下さい。

この際、取付金具Bは必要ありません。

☆印は使用穴



配線図



Br	Brown	茶
R	Red	赤
O	Orange	橙
Y	Yellow	黄
G	Green	緑
B	Blue	青
Pr	Purple	紫
Gr	Gray	灰
W	White	白
Bk	Black	黒
W/R	White/Red	白/赤

注 1 A仕様のスイッチングレギュレーターをお持ちの方は、
 2 A仕様のものに交換するか、ランプの使用を避けて下さい。
 なお、ランプの配線はスイッチングレギュレーターのDC+12V端子と
 GND端子へ続いて下さい。

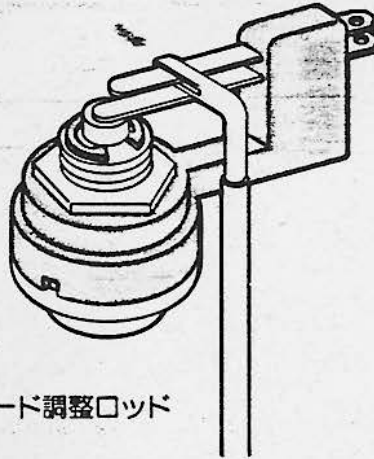
電源 5V→5A (メインPQB-1A)
 12V→2A (ランチャー1A)

メンテナンス

機械を常に最良の状態を保持する為に、
次のようなメンテナンスをしてください。

●ブッシュボタンのスイッチブレード(板)調整

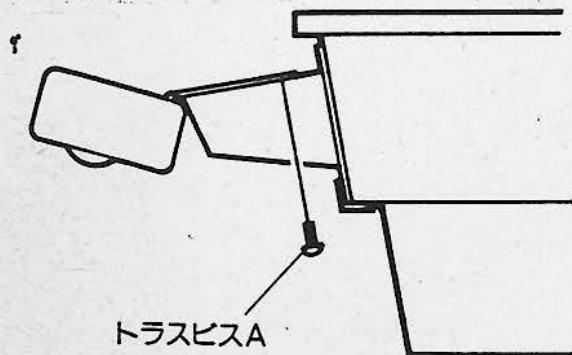
- ブレードとブレードの間隔をチェックし、調整してください。
狭すぎても、広すぎても接点不良になります。
(接点の間隔は0.5mm~1mm位が正常です)
また、ブレードのまがり等を直す場合は、ブレード調整ロッドを使用すると便利です。
- 接点不良の原因となる汚れは、きれいな布等でブレードの接点を良く拭いてください。



ブレード調整ロッド

●コントロールボールの点検

- コントロールボールのローラーシャフトが減っているか点検してください。もし、過度の減りにより、C・Bスパーサーとボールとのすき間がありすぎる場合、ローラーシャフトAか、ローラーシャフトBを交換してください。
- コントロールボールのボールベアリングに月に一度または、2000クレジットに一度、オイルを差して下さい。その時、ほこりをきれいに落としてから潤滑油を2、3滴、一台につき6個のボールベアリングに差して下さい。

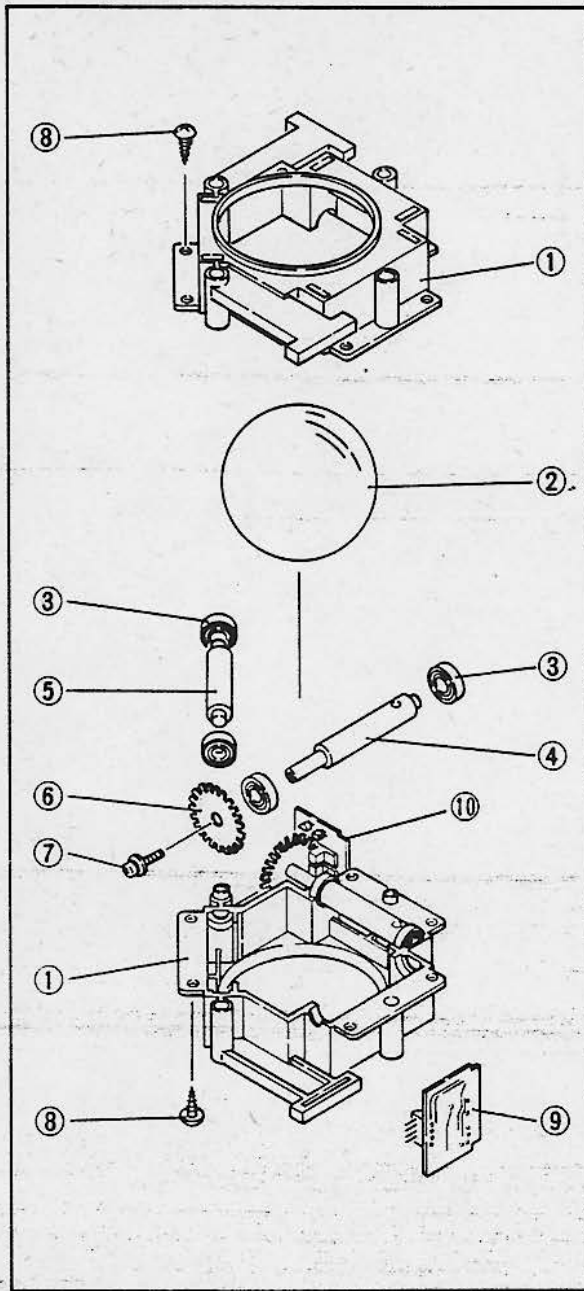


トラスビスA

メンテナンスは、Aのビス(2ヶ所)をはずして行なって下さい。

テーカン ワールドカップ

分解図(コントロールボール)



Index No.	パーツNo.	名称	個数
1	RF-01-003	ハウジング	4
2	RF-02-003	ボール 赤	1
	RF-02-004	〃 青	1
3	AM-02-005	ベアリング	12
4	AM-01-007	シャフト A	4
5	AM-01-008	〃 B	2
6	BM-01-007	羽根車	4
7	MS-02-408	十字穴付なべねじ	4
8	MS-02-512	十字穴付トランスタッピング	12
9	E-01-004	フォト基板 H5P	2
10	E-01-006	フォト基板 H4P	2

注意事項

制御回路はすべてICで構成されているので長寿命の反面、取扱いによっては瞬時に破壊するので次の点に充分気をつけて下さい。

1. 部品交換、コネクタの抜き差しは、必ず電源を切して下さい。
2. PCボードのテスター検査はしないで下さい。テスター内部電圧でICを破壊する事があります。
3. PCボードは絶対に直射日光には当てないで下さい。
4. コネクタを接続する時は、コネクタの向きを間違えないよう充分注意して下さい。
5. PCボードの持ち運びはビニールエアマット等を使用し強い衝撃を加えないようご注意下さい。